

松前町

No.83

2014年8月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

議会だより

6月定例会



2P 6月定例議会

一般会計補正予算 修正可決

4P 委員会ニュース

北伊予中学校耐震工事進む ほか

8P

一般

質問

- ・災害弱者の避難支援対策に個人情報への取扱いは
- ・放課後児童クラブの今後の検討課題は
- ・地域資源を活用した町づくりを
- ・読書の預金「読書通帳」の取組みを
- ・エミフル周辺の歩行者の交通安全対策は
- ・大災害に備え安心の水道事業の早期確立を
- ・北伊予駅高架橋の議会議決日などの詳細は

16P 議会録画配信始まる

こんなことが決まりました

6月定例議会は、6月11日から14日間の会期で開かれました。
審議内容の主なものは以下のとおりです。

(特に本会議場で議論になった項目を中心に明記しています)

【JR北伊予駅自由通路にかかる過程】

- ①平成25年6月議会
自由通路の詳細設計予算可決
- ②平成25年9月議会
町道認定の可決
- ③平成26年2月17日
西条市視察
- ④平成26年4月11日
議員全員協議会
(町道整備計画について)
- ⑤平成26年5月22日
議員全員協議会
(JR北伊予駅自由通路について)



JR自由通路整備費8,690万円削除の修正案可決に

★平成26年度補正予算案

一般会計 **5億4,639万円** 増額

特別会計 **412万円** 増額

請願2件、報告2件、予算、条例など11件の議案が提出され、各常任委員会に付託し、一般会計予算については一部修正案が提出され審査を行った。本会議でも十分な審議を経て全案件を承認・可決・同意した。(詳細はP4・5・6に)

★議員提出議案2件

- ① 農業委員会選任委員の推薦
- ② ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出

◎これまでの過程(上記①～⑤参照)
JR車両基地・貨物駅等移転による周辺整備事業の一つとして北伊予駅自由通路の整備事業がある
①で自由通路の2,200万円の設計予算を可決し②で町道認定し、工事費が見込みで約1億5千万円想定していると説明があった。
③では県内の先進事例

として西条駅と壬生川駅の自由通路を議会で視察。西条駅は、4メートル幅、エレベーター付きの自由通路の総額費用が3億1千万円と聞く。
④で町道整備計画の資料を確認し⑤でJR提示の北伊予駅自由通路の詳細設計額が約3億5千万円、さらに年間維持費などすべて含めると4億円という予想以上の高額な

事業費だと判明。ここで理事者側にこのギャップの原因と今後の減額へ向けての対策について質すが、明解な回答がない。
◎北伊予駅自由通路の整備費削除の修正予算可決
★理事者側は「工事内容の一部を町側でできるような交渉を行っていく」など理解を求めた。



6月定例議会

6/11~6/24

◎今後は・・・

○理事者

周辺整備事業に関しては、自由通路の往来で無人駅の北伊予駅が地域活性化の進展につながることを期待して今後もJRや県との調整をしていきたい。

○地域住民

★ 一方、議員から特に20日の予算決算常任委員会でも議論になった内容(2メートル幅でエレベーターなしの自由通路がこのように高額な事業費になったのか)と費用対効果などを疑問視する声もあがった。

○議会

★ 結果的に最終日に自由通路整備費8,690万円を削除した修正案5億4,639万円を全会一致で可決した。

一部議員からは自由通路の必要性などについてもっと多くの町民の意見を聞く場を設けてはどうかとの意見もあつた。

松前町国民健康保険条例の一部を改正する条例に対し討論

賛成

財源不足のため基金のうち約半分の2,500万円を取り崩すが、そうした場合突発的な伝染病など大幅な医療費が発生した場合に対応できないため現在の5,100万円程度は確保したいという町の財源確保のため国税を上げる条例改正を承認。

反対

今までにそのような大幅な医療費を使う疫病などの発生があつただろうか。基金は町民から集めた貴重な税金であり、その一部を基金として貯金しているのだから当然取り崩すべきだ。医療費縮小の努力が先で、住民に負担を押し付けるべきではない。



★2名の議員に辞職勧告案可決★

★ 全日程終了後、議長職を副議長に交代し議長三好勝利議員から、伊賀上明治議員に対する辞職勧告決議案の動議が提出された。

反対

すでに和解の成立していることや申し合わせ事項に対する見解の相違である。

賛成

その後、賛成多数で可決された。

反対

★ 同様に、三好勝利議員は、岡井馨一郎議員に對しても「過去の研修中の問題行動を議員全員協会で虚偽の答弁をしたなど挙げられる。」として議員辞職勧告決議案を可決された。

★ これに對して伊賀上議員は「議長辞職勧告は私が提案したが、決議するのは議員各位が考え判断したものだ。その後の議会の進行には協力してきたし、町民を困惑させたとは思わない。」と弁明した。

★ 岡井議員は「何年も前のことを持ち出してこのような動議を出され憤慨している。指摘された件については松山地裁で和解済みの話だ。」との弁明の後、質疑、討論があつた。

★ 伊賀上、岡井両氏とも辞職勧告に法的拘束力はないので辞職はせず活動を続けるとした。

★ 紙面の都合上、具体的内容には表示できない部分がありますので、詳細について確認された方は、録画配信や議事録でご理解して頂きますようお願い致します。

議長選に絡む一連の事象の中で、組合の研修で望ましくない行為をした。申し合わせを守らなかつた。報道陣を巻き込み混乱させた。など

予算決算

計補正予算

委員会
ニュース

北伊予中学校耐震化進む



安全・安心な校舎で勉強がんばれ！

問 中学校耐震事業の町債の補正の内容は。

答 北伊予中学校耐震工事補助金の変更に伴う見直しと新たに同中学校の技術教棟の耐震化と太陽光発電システム設置事業に係るものだ。

問 東日本大震災被災地への派遣職員の旅費補正の理由は。

答 派遣職員の健康維持や精神的負担の軽減を図るため、松前町への帰省回数を年3回から12回に増やすもの。費用は全額、派遣先が負担する。



3年後が楽しみだ。ホッケー場予定地（鶴吉）

問 えひめ国体にかかる費用の総額は。

答 ホッケー場の整備は5億5,400万円を見込んでいるが、ピストル競技の会場は県の施設であるため町の負担はない。ボクシング会場の松前公園体育館は、照明が足りないため改修が必要だが、改修方法を検討中のため経費は不明だ。

問 町道東176号線自由通路整備事業は。

(JR北伊予駅高架橋)

答 今回の補正額は8,690万円、そのうち補助対象が7,925万円、国庫補助金が55%の4,358万7千円、県補助金が22.5%の1,783万1千円である。

1億5,000万円から3億5,000万円になっているが、事業費が増えた内訳が明確になっていない。利用者の見込みなど費用対効果もしっかり検討する必要がある。今後ますます増加する高齢者のことも考えエレベーター設置も検討する必要がある。

○ 地元にしてみれば、地域が線路で分かれており、この事業により自由に行き来ができるようになり、地域の交流など地域の活性化に大きな効果が生まれる。など

望書が提出されており、現在、工事中の貨物基地が整備される期間であれば、国の補助金のほかに県の補助金が交付される有利な条件で整備ができるため、この機会をとらえて整備したい。

○ **意見** 事業採択までの経緯、地元やJRとの協議の経過が不明である。費用が当初の

審査の過程で、事業内容など不明な点が多いため、再検討する必要との判断をした。そのため、町道東176号線自由通路整備事業費8,690万円に関係する部分を削減した修正案を提出した。



解体予定の若葉保育所

平成26年度 一般・特別会

問 旧若葉保育所は今後どうするのか。

答 庁内で利用調査をしたが希望がないため、管理上、解体を

問 特別管理産業廃棄物PCB(ポリ塩化ビフェニル)処理経費の計上理由は。

答 町で保管している

問 不法投棄の監視カメラの対応は。

答 現在の一ヶ所からもう一ヶ所増やす。今回の設置場所は江川住宅である。不法投棄を発見した場合は、最初は指導を行い、繰り返すようであれば警察と相談しながら対応する。

廃棄物は、平成27年3月までに処分を行う必要があるためだ。

平成26年度 一般会計補正予算概要

■予算総額

(単位：円)

区分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	89億7,781万	5億4,639万	95億2,420万	6.1%
前年度	88億5,930万	2億 110万	90億6,040万	2.3%

■松前町一般会計補正予算(第1号) 主要事業

(単位：円)

科目	項目	金額
総務費	コミュニティ助成(宝くじ普及)事業	370万
民生費	保育士等処遇改善臨時特例事業	160万
衛生費	不法投棄未然防止事業	153万
農林水産業費	日本型直接支払事業	2,330万
	土地改良事業	1,800万
土木費	町道等整備事業関係	1億7,520万
	JR車両基地・貨物駅等周辺整備対策事業	3,470万
	町営住宅管理事業	1,642万
教育費	中学校耐震化事業	9,233万
	国体施設整備事業	1億9,227万

委員会 ニュース

文教厚生

②⑥ 松前町国民健康保険条例の改正

要旨

平成25年度決算で、概算で交付されていた、国・県負担金や前期高齢者交付金を26年度と27年度に返還する必要があり、返還すると財源不足が見込まれるから、医療分について税率の引き上げを行う。

総務 産業建設

北伊予中耐震補強費を増額

③② 北伊予中学校（普通・特別教棟等）耐震補強工事（建築主体工事）変更請負契約の締結について

要旨

耐震補強工事変更に伴う追加工事費の増額。

内容

耐震補強工事で目視による外観状態（ひび割れなど）を観察した時の請負金額と実際に工事を行った場合の補強工事において追加工事が増加したため請負金額の増額を行う。

意見

○高所のひび割れなど高所作業車を借りても高額な経費にならない。
○請負業者が1社に集中している。多くの業者が落札できるような方法にすべきである。
（全員一致で可決）

また、国保税の値上げ

審査

国保会計の基金に対する質疑に対し基金は5,100万円程度ある。当初予算では財源不足のため2,500万円を取り崩すとしているが、突発的な医療費の発生時に対応できない。5,100万円程度は基金として確保しておく必要がある。国保会計の財源は皆さんから納めていただく国保税でまかなうという原則であるため、条例改正を行う必要がある。

主な質疑

問 医療費を抑え保険料を上げないようにする取り組みが必要ではないか。
答 特定健診を継続し、平成25年度から希望地区で開催している。健康づくり教室を全町的に広め、町民一人ひとりが健康づくりに対する意識を高め、医療費を抑えたい。

意見

先進地の取組みを研究するとともに、健康課・福祉課などの関係

論点

国の責任において医療費助成制度の創設と身体障害者手帳の認定基準の緩和を求める。

審査

感染拡大の原因は国の責任であり、早急に対処すべきである。肝炎患者の医療費は高額で、高額療養費制度があるとしても大きな負担になっている。障害者手帳が交付されれば、当町でも交通費の軽減などが受けられる。県・国でも医療費助成制度の拡大の動きがあり、当町としても要望すべきである。
（全員一致で採択）

議員提出議案で意見書を国などに提出

● 「子ども医療費の拡充を求める請願」

◎ 請願者

新日本婦人の会松前支部 支部長 大西 頼子
紹介議員 稲田 孔

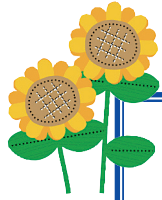
論点

子どもの医療費助成制度を拡充し、通院にかかる医療費を小学校卒業まで無料化することを求める。

審査

子育て世帯の負担を考えれば、中学校卒業まで医療費が無料となるのは理想であるが、町の財政状況を考えると、町単独でこれ以上の医療費助成は難しい。子育て支援施策はどれも重要であるが、優先順位をつけて実施していく必要がある。まずは放課後児童クラブの待機児童解消から取り組むべきである。
（全員一致で不採択）





6月定例議会

提出議案及び請願への 各議員 賛否表

※ △議長 ○賛成 ●反対

議員名		稲田	稲田	加藤	寺下	八束	藤岡	村井	早瀬	松本	澤田	岡井	伊賀上	三好	木下
		孔	輝宏	博徳	武	正	緑	慶太郎	武臣	一二美	登代一	馨一郎	明治	勝利	淳
請5	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
請6	子ども医療費の拡充を求める請願	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	△	●
提1	農業委員会選任委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
提2	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
24	専決処分の承認を求めることについて (松前町税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
25	専決処分の承認を求めることについて (松前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
26	松前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	△	○
27	平成26年度松前町一般会計補正予算(第1号)についてに対する修正案(議員提出)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
	平成26年度松前町一般会計補正予算(第1号)について(修正部分を除く原案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
28	平成26年度松前町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	△	○
29	平成26年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
30	平成26年度松前町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
31	平成26年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
32	北伊予中学校(普通・特別教棟等)耐震補強工事(建築主体工事)変更請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
33	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
34	松前町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
	伊賀上議員辞職勧告決議	○	●	○	○	●	●	○	●	△	○	●	除斥	○	○
	岡井議員辞職勧告決議	退席	●	○	○	●	●	○	●	△	○	除斥	●	○	○

※辞職勧告決議は、三好勝利議長が発議者のため、松本一二美副議長が議長の職務を代理し、議事に関する議員は、地方自治法第117条の規定により除斥となります。

7議員が登壇

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

藤岡 緑 議員 (9ページ)

- ◆個人情報と防災活動
- ◆児童館のあり方と老朽施設の今後
- ◆ふるさと納税の効用は

村井 慶太郎 議員 (10ページ)

- ◆放課後児童クラブの今後の検討課題
- ◆水道料金の再値上げと水質の違いは
- ◆町道整備計画と町道認定
- ◆補助金の見直し
- ◆地場産業の育成と安全対策

八束 正 議員 (11ページ)

- ◆地域資源を活用した町づくり
- ◆障がい者勤務施設からの優先購入方針の考え

松本 一二美 議員 (12ページ)

- ◆読書通帳の取組みを
- ◆認知症の早期発見の対策と推進を
- ◆防災情報提供にシールの配布を ◆木育の取組みを
- ◆えひめ国体への取組みに女性委員の登用を

稲田 孔 議員 (13ページ)

- ◆エミフル周辺の歩行者の交通安全対策
- ◆学校給食の民間委託は中止すべきだ

稲田 輝宏 議員 (14ページ)

- ◆大災害に備え安心の水道事業の早期確立
- ◆フジ松前店と警察学校西交差点間の歩道整備
- ◆新道西古泉筒井線 ◆通学路のグリーンベルト

加藤 博徳 議員 (15ページ)

- ◆北伊予駅高架橋の議会議決日などの詳細は
- ◆小・中学校連携の取組み

いっぱん
質問

町政を問う

一般質問とは・
 ・ 議員が町の行政全般について質問し、町長や部長などが答弁するものです。
 ・ 議員一人あたりの発言時間は45分以内です。
 ・ 登壇は、通告書(質問内容を要約した書類)の提出順に行われます。

子どもたちに人気のトランポリン遊び



早く直して床のひび割れ



藤岡 緑 議員

災害弱者の避難支援対策に個人情報取扱は

8月中旬には要支援者名簿入り避難支援計画が

問

国の災害時要支援者の避難支援ガイドラインに基づき、町内、地域の個人情報収集と共有が急がれる。また自主防災会、民生委員町内会などの情報管理、運用する側の一定基準が必要だが、町の考えは。

防災担当副町長

平成19年11月に災害時の要支援者支援対策マニュアルを作成。東日本大震災以後の法律改正で具体的な個人情報の保護対策ができた。平常時には本人の同意を得て避難支援にかかわる人たちへの情報提供ができ更に非常時には本人の同意なしに必

要な措置を講じることが

できるようになった。その基準として昨年8月に保健福祉と防災担当者による横断的プロジェクトチームとして災害時要支援者支援班を立ち上げた。今年の8月中旬をめどに避難支援計画を策定中だ。

児童館の在り方と老朽化する施設の今後は

子育て支援の拠点と考え耐震診断を急ぐ

問

町内の児童館は、唯一北公民館に併設され活動しているがその在り方は。また建築後34年で老朽化が進んでいる。今後の改修などの考えは。

福祉課長

昨年は年間296日開

もの居場所づくりも充実させていく。

館し、約5,200人の利用があり大勢の子どもが訪れている。週1回の移動児童館も実施し、子育て支援の拠点として「子ども、子育て会議」の意見を聞きながら子ども

老朽化した建物の軽易な修繕は行いが大幅な改修は難しく、まずは耐震診断を行い、その結果により耐震工事の検討をしたい。



お母さんが安心して預けられるように



村井 慶太郎 議員

放課後児童クラブの今後の検討課題は

放課後児童クラブの量と質の充実を図る

問

女性の社会進出が進む中で、母親が安心して働くには、子供を預かってくれる場所が必要である。本町の放課後児童クラブは利用の希望がかなわない保護者が多いと聞く。今後、必要性が増す放課後児童クラブのあり方と検討課題は。

女性の社会進出が進む中で、母親が安心して働くには、子供を預かってくれる場所が必要である。本町の放課後児童クラブは利用の希望がかなわない保護者が多いと聞く。今後、必要性が増す放課後児童クラブのあり方と検討課題は。

こうしたことから、松前町の基準を定めた条例をつくり、現在、策定中の子ども・子育て支援事業計画の中で、放課後児童クラブのあり方について検討する。

また、利用できる施設があるか調査を行い、早い時期に町内全ての児童クラブが新しい基準に適合するよう検討する。

福祉課長

水道料金の再値上げと水質の違いは

早急に再値上げと値上げ幅の検討が必要

問

今後、再値上げが否めない。値上げの時期と方法は、北伊予浄水場が稼働し始めたが、北伊予地区、岡田地区の水質は以前とどのような違いがあるのか。

町長

水道料金の再値上げの時期は、早急に再値上げの時期とその値上げ幅を検討していくことが必要である。

水質に問題があった訳ではない。安定した水質を保ちながら、水質基準に対応して、大規模地震に耐えられるよう浄水場を建設したもので、安全で安心な水を持続的に供給する施設が整ったと考えている。

水質に問題があった訳ではない。安定した水質を保ちながら、水質基準に対応して、大規模地震



松前町の町花「ひまわり」資源としてどう活かすか



八東 正 議員

地域資源を活用した町づくりを

本町の特性や資源を最大限に生かす取り組みをする

問

本町には素晴らしい資源がある。たとえば、裸麦や地元農産物、また、珍味加工、町の花ひまわり、町の歴史や文化など。

副町長

昨年1月名古屋で町単独で実施した物産展を契機に、さらに魅力的な町づくりを発展していく環境を創造していくため、地域ブランディング事業を進めている。また、町の知名度アップを図るため新たな視点で義農作兵

衛翁を顕彰する町の基本コンテンツを制作するなど、地域資源を活用した町づくりに取り組んでいる。今後も本町の特性や資源を最大限に活かしながら交流人口と定住人口の増加を図りたい。

障がい者勤務施設からの優先購入方針の考えは

今年度中に調達方針を策定し購入していきたい

問

平成25年4月から障害者優先調達推進法がスタートした。

保健福祉部長

現在、対象となる施設が町内や県内のどこにあるかやどのような品目があるかやどの品目について調達できるかなどについて調査中である。今年度

など調達をしていきたい。現在の購入状況は、主に職員が障がい者就業施設などから弁当やパンを購入するなど、施設の運営に協力している。

松前町も率先して調達方針を作成し、障がい者の支援を優先的に積極的に購入する取り組みが必要では。また、現在の購入状況は。

調達目標を設定するなど、調達方針を作成して物品



本が好きな子に育てたい



松本 一二美 議員

読書の預金「読書通帳」の取組みを

松前町ふるさとライブラリーで実施する

問

『本が好きな子に育てたい』

意欲的に読書に取り組み、読書の預金をする「読書通帳」を、小学校・中学校で、読書通帳を作ることを提案する。読書通帳は、人生でどのくらい本を読んだのかを記録でき、心の取組みを伺う。

財産になる。

子どもたち一人ひとりが、読書の預金をする「読書通帳」を、学校・ふるさとライブラリーで実施する考えは、あわせて、学校図書室における司書の配置・取組みを伺う。

学校教育課長

ふるさとライブラリーで、手書きタイプの読書通帳を実施する。司書教諭は、町内各小・中学校に配置し、資料の選択、収集や読書活動の指導、運営、活用について中心的な役割を担っている。

認知症の早期発見の対策と推進を

認知症の予防事業に力を入れている

問

認知症による徘徊が社会問題化している。当町も、高齢化・認知症・介護の問題が直近の課題だ。軽度認知症(MCI)の発見と早期治療のための効果的なプログラムがある。(端末は一台約80万円)

認知症予防教室の普及促進に機器導入の考えと、認知症対策推進を問う。

保健福祉部長

松前町ホームページに認知症検査サイトを掲載する考えは、

タッチパネル機器は、予防研究のための機器で、町として導入の考えはない。

今年度からは、高齢者を対象に脳元気アップ教室を随時実施していく。

認知症検査サイトは、勝手な自己判断を招く恐れから掲載の考えはない。



調理業務の民営化が検討されている学校給食センター



稲田 孔 議員

エミフル周辺の歩行者の交通安全対策は

町民啓発と道路整備に取り組む

問

町の総合計画での子ども、高齢者（電動車いす）、障害者などの交通弱者の安全対策にどのように取り組んでいるのか。

また、エミフルの西と北に位置する伊予鉄線路沿いの町道西143号線と西186号線は車の離合も困難で歩行者の通行も危険だ。

町はどう対処するのか。

エミフルに交通指導員の配置も求めたらどうか。

副町長

交通安全について町は町民啓発に努めている。町道西143号線はエミフル開業当初と比べ混雑が少なくなっている。

町道西186号線については現在道路整備を行っている。
また、町は町道西古泉筒井線を計画しており、完成後はエミフル周辺の渋滞緩和に役立つと考えている。

学校給食の民間委託は中止すべきだ

入札不調となったが再度実現めざす

問

町は、昨年11月に学校給食センターの調理業務を民間委託したいとの意向を表明したが、いまもって議案の具体的提案がない。

委託先業者との間で委託料の折り合いがつかないことが原因のよ

学校教育課長

民間委託は行財政改革の一環として検討してきた。保護者アンケートでも賛成、どちらでもよいを合わせると83%となっており、昨年度は入札不調となったが、再度民間委託実現に向けて努力している。



歩道整備が急がれる水路



施設への送水管は早急に耐震化を図る



稲田 輝宏 議員

大災害に備え安心の水道事業の早期確立を

20%値上げ予定だが大消費地の水源地整備を検討する

問

水道基本料金は700円と安く、中予では1,000円以下はない。現況では、電力料・材料費・工賃などのコスト面が厳しい。早く長期的適正料金で安心な水道事業展開を。

町長

せ、避難施設への送水管は早急に耐震化を図る。

フジ松前店と警察学校西交差点間の歩道整備を

早急な対応を検討する

問

2年前の指摘では調査し対応するとの回答だが、そのままだ。ここは一度車道へ出て水路を迂回しないと往来出来ない。高齢者などの弱者は通行が困難で危険だ。早く歩道を整備して安全でやさしい町づくりを。

産業建設部長

水路の清掃に開口部が必要だが、暗渠にして歩道を繋げば歩行者の安全が確保できるので、関係者の理解が得られれば施行を検討する。



工事中の3番線路と北伊予駅高架橋



加藤 博徳 議員

北伊予駅高架橋の議会議決日などの詳細は

理解していただけるよう意を配っていききたい

問

反対ではないが全額町負担で、工事をいつ、誰が起案し、いつ議会の議決をしたのか。詳細が不詳のため判断ができないので説明を求む。

一覧表をつけて、加戸知事宛てに要望を出している。これからはJRとさまざまな分野で交渉するので、経過の説明は意を配ってまいりたい。

したが、それ以降、順次動いていて、所管はまちづくり課で、その辺の書類が明確に残っていない。議決は、昨年の9月、町道認定したことが当然議決という意味だと思っている。

町長

平成18年3月30日に、伊予市長と私の連名で、

経緯は、最初の段階のどの段階から始まったとというのが明確にない。平成18年に町長が県に要望

事業については町道認定ということで事業を認めたと理解している。

小・中学校連携の取組みは

北伊予小と北伊予中学校で実施した

問

小・中学校連携の取り組み状況は。また、学校現場の事務的書類の軽減は。

で、子供たちの英語の理解度を確認することができた。引き続き、英語だけでなく教科を広げて出前授業、合同授業を行い、調査研究する検討委員会を立ち上げ、小中連携教育について取り組む。

報告文書は年々増加をしている。学校からの報告は電子データで提出するなど、できるだけ教員や事務職員に、手間や時間のかからないように、今後も創意工夫しながら軽減する。

教育長

ALTを活用した授業が展開され、双方の先生が授業を参観すること

国、県からの書類及び

専決処分
(条例改正)

24 松前町税条例

地方税法一部改正のため条例改正が必要となったため以下のよう
に改正
(改正点は赤字)

◎軽四輪車等及び小型特殊自動車の軽自動車税
自家用乗用車は1.5倍
その他は約1・25倍

但し、軽四輪車等については平成27年4月1日以後の最初の新規検査を受けるものから

◎グリーン化の観点から

最初の車検から13年経過した軽四輪車等は概ね20%の重課を導入(平成28年度分から)

◎原付及び二輪車の軽自動車税
約1.5倍
(最低2,000円に)

例・原付(50CC以下)

現行 1,000円

← 改正案2,000円

・軽二輪(125CC超) 250CC以下)
現行 2,400円
← 改正案3,600円

◎地域間格差是正のため

◎法人住民税法人税割の引き下げ
現行 12・3%
← 改正後 9・7%

25 松前町国民健康保険税

国民健康保険法施行令が一部改正されたため以下のように改正

◎後期高齢者支援金等課税額にかかる課税限度額の引き上げ
現行 14万円
← 改正後 16万円

◎介護納付金課税額にかかる課税限度額の引き上げ
現行 12万円
← 改正後 14万円

◎低所得者に対する国民健康保険税の軽減措置の対象を拡大するため

5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の引き上げ

人事案件

1 農業委員会選任委員の推薦

・提案理由
任期満了に伴う後任委員を推薦

鳥越 英子氏(浜)

岡本 多恵子氏(塩屋)

の両氏が推薦され全員一致で可決

33 人権擁護委員候補者の推薦

・提案理由
任期満了に伴う後任委員の推薦

武智 和孝氏(西古泉)

が推薦され全員一致で同意

34 松前町教育委員会委員の任命

・提案理由
前委員の退任のため後任委員の任命

坪内 雅子氏(上高柳)

の任命に全員一致で同意

◎農業委員会の委員推薦は

市町村単位で設置が義務付けられた委員会。主に農地売買や農地転用に際し、無秩序な開発を監視・抑止する役割を担っている。松前町では21人の委員会委員の内、2名を議会推薦枠としている。数年前から男女共同参画推進の国の方針で、女性委員を推薦していくという考え方により、各3校区のうち2校区輪番で推薦される。今回は岡田・北伊予校区から選出されている。

意見書提出

録画配信開始

本会議で「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」の提出を全員一致で可決した。

【内容】
1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること
2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること

従来のネット配信による議場のライブ中継に加え、6月議会より録画配信ができるようになりました。議会終了概ね1週間後から町ホームページで視聴できます。ますます、議会の情報を皆さんにお届けできる機会が増えます。



また値上げ、税務相談も増えるかな？

町民の声

家庭でも議会傍聴を

岡田地区 H K

松前町定例6月議会最終日に、北伊予駅自由通路整備費8,690万円を削除した修正予算が可決され、同時に伊賀上明治、岡井馨一郎両町議会議員の辞職勧告決議案が可決された報道と録画配信を見て、感じたことを一

町民として申し上げたい。

自由通路整備費は、当初の説明に比べて倍額な費用と詳細不明のため予算決算常任委員会議員に指摘され削除されたと聞きました。また、議員辞職勧告は、議員研修の移動中に責任者の了解も無く、外泊し不適切な行為をして、朝帰りしたと言われている。

また、別の議員は、議員研修中の夕食に息子を同席させ、町の公費で飲食を共にしたと言われているが、このような行為が通常的に松前町議会ですでにしているのですか。情けない。

さて、議会傍聴が無い方もおられると思います。6月議会からは、インターネットによる中継及び録画配信

が始まっています。町民の皆さん、インターネットで検索し本会議を見てください。議会の内容がよく分かります。誰がどのような質問し、答弁がどうであったかを確かめてください。松前町のため



傍聴席

委員会を傍聴して

一町民より

定刻に開会審議が始まる、各課順に理事者側の提案理由説明、議員との質疑応答審議順調に進む、時々発言資格のない議員の発言があり委員長より発言中止を求め、審議が続く、またおなじ議員の発言があり委員長より発言中止を求め、審議が続く、またおなじ

議員より発言あり委員長が制止する。休憩、昼食をはさみながら審議原案賛成にて順調にすすむ。ところが北伊予駅自由通路整備事業予算の審議にはいると、議員より事前に依頼した書類が未提出のため審議不可能の意見により資料準備の間休憩の後、委員会の雲行き怪しくなる。資料提出後再開原案の賛否に対する政策論議から逸脱し議員間での批判、退席を求める意見、理事者側に対する

批判などの応酬となる。委員長再三にわたり軌道修正を図りながら審議を進める。初めての傍聴に期待してみたが期待外れで呆気にとられ17時途中で退席した。

私たち町民それぞれが選んだ議員さん議会でのんな活躍をしているか、町民のために頑張っているか、次の選ぶ機会へ向けて参考にする、本会議、委員会傍聴を積極的に行うことをお勧めしたい。

パソコンから傍聴

録画配信について

PC

パソコン傍聴でこの6月議会より録画配信されること。

早速、一般質問を拝聴しました。午前中の議員2名の一般質問を聞き、防災関係、福祉関係、町道整備関係など多岐に渡っていました。



残念ながら、ライブでは数字の詳細や質疑の流れが十分に理解できませんでしたので録画配信の利点を利用して再度、質疑答弁の中身を確認したいと思いま

町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。

(500字程度)

【宛先】

松前町筒井631

議会広報常任委員会

「町民の声」

Fax 985-4148

E-mail :

500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由に行えます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

多くのみなさんの傍聴を庁舎5階でお待ちしております。 (次回は9月上・中旬の予定です)



松前町で生きる & みんなで支える

発行／松前町議会
編集／議会広報常任委員会

〒791-3192 愛媛県伊予郡松前町大字筒井631
TEL.089-985-4130 FAX.089-985-4148

【松前町ホームページアドレス】
<http://www.town.masaki.ehime.jp/>

土づくり50年、夏でも食べられる春菊がハウスにいっぱい

西古泉 大政 忠康さん
ヒロ子さん

化学肥料をできるだけ使わない農法。有機質の堆肥、海そう肥料などと自然界に住む酵素（乳酸菌、納豆菌）を糖蜜で自家培養した魔法の液体を何千倍にも薄めて注入してできたふかふかベッドのような土。そこで自家育成した新品種の暑い夏でも出荷できる春菊が誕生する。（他にホウレンソウ、小松菜も出荷する）

徹底した水、温度、湿度管理でハウス環境を守るご夫婦の長年の苦労と汗を感じる。環境に優しい農業を続けることで私たちに安全で元気な葉物野菜を届けて下さる大政さんご夫婦に改めて**感謝、感謝!!**



元気な春菊たち

まちの話題 地域の活力に思いを込めて

徳丸村芝居を復活させて19年目。当初から復活にたずさわり、芝居に対する情熱と地域の活性化にと、伝統文化として保存継承している八城秀樹さん。（43歳）

普段は大工さんしながら町の消防団員としても活動をしています。8月の夏祭りには、神社内に仮設舞台の設置に向け自ら大工仕事で貢献し、また、徳丸一座の座長としても、役者や裏方の先頭に立ち、地域の活力に思いを込めて日夜取り組んでいます。そんな八城さんは地域の皆さんから絶大な信頼を受けています。



今年も村芝居の舞台づくりに励む
八城秀樹さん

編集後記

松前町本会議は従来からインターネットで中継されていますが、6月議会からは閉会后、概ね一週間後には、いつでも見られる録画配信ができるようになりました。

傍聴に來られない方も議会広報片手にぜひ、ご覧いただきたいと思ひます。少しでも開かれた、分かりやすい広報を目指し活動して行きたいと思ひます。

（加藤博徳）

議会広報常任委員会

- 委員長 藤岡 緑
- 副委員長 松本 二美
- 委員 八東 正
- 委員 寺下 武
- 委員 加藤 博徳
- 委員 稲田 輝宏
- 委員 稲田 孔



この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。

